

令和6年度 放課後等デイサービス(事業者評価)

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			机上活動やおやつの時以外は、テーブルを折り畳み、運動ができるようにスペースの確保を行っている。また天候によるが戶外活動は基本的に毎回行っておりスペースを広く使っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			常勤2名、パート2名の体制で児童がいる時間帯は指導員4名と児童発達支援管理責任者の5名で対応している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差、凹凸ができるだけない状態を確保している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		日々振り返りを口頭で行い、毎月のミーティングで児童や支援内容を確認し振り返りと今後の計画を話し合っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向をその都度共有し、ミーティングで話し合い改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価者を設けていない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修になかなか参加する時間が取れない分、社内研修の年間予定をたて支援に必要な内容を毎月1回程度実施。オンライン研修を含め、当事業所に必要な内容があれば参加を検討している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画を元に、保護者の意向や児童の成長に応じてその都度話し合っている。またミーティングで共有しながら支援につなげている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	保護者や児童の意見や思いを聞き取り、保護者との面談を行い個別支援計画の作成を行っている。標準化はされていない。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングや当日児童の来室前に日々のプログラムの検討をして支援を提供している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節や行事の理解を深めるため、毎月製作活動を一回以上行っている。長期休みにはお出掛けやランチ会等お楽しみを企画し実施している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は流れを大事にしながら支援を行い、長期休みは普段より時間を掛ける作業や活動を取り入れて時間の配分等を考慮した内容にしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の意向や児童の発達に応じた個別対応と、小集団で活動している様々な角度から児童に必要な支援内容を検討して実施している。集団活動は職員が仲立ちしたルール設定を行い、新しいことにもチャレンジして経験を積み上げる内容を提供している。

区分		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			児童の送迎に向かう前に本日の出欠と支援の内容について確認し、当日の流れや動きの共有を行っている。
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りについては当日もしくは翌日に行っている。必要に応じてミーティングでも精査している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供記録は指導員が毎日記入し、複数の職員の視点で確認している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児童発達支援管理責任者が行っている。今後は全職員がモニタリングできるように精査していきたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って組み合わせを検討しながら支援の実施を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加している。
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			児童の下校時刻や年間予定については保護者から書面等で情報を頂いている。下校時の児童引き渡し時には教諭から学校での様子等を伺い、事業所内でも共有している。トラブル発生時には児童の安全を確保した上で、管理者に電話報告して対応することを徹底している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		/		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		/		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		/		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			相談支援事業所と情報共有を行って、助言を頂くこともある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			当事業所は様々な所属の児童がおり、学校とは違う環境や児童の交流となっている。他事業所との交流は現在は行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	チャンスがあれば、参加していきたいと考えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電子連絡帳にて事業所での児童の様子は毎回伝えている。送迎時に職員が保護者に対面できる場合は直接報告をしている。また保護者とは面談、電話やメールで情報共有を常に行い、支援につなげるように対応している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者に同意を得て、児童発達支援管理責任者による定期面談、電話相談対応を実施している。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時には契約書、重要事項説明書の読み合わせを行っている。利用が開始する前に利用者負担については別途説明書類を用意し説明している。その他必要に応じて対応を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			児童の成長や気になる事は適宜、送迎時や電話やメールにて伝えて相談に応じたり、助言を行っている。また面談時にも同様に行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、保護者交流会や研修等の開催を検討し、保護者の承認を受けた際には実施できるようにしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等あった際は、主に児童発達支援管理責任者が対応し、内容については職員間で共有し、その後の対応、対策については適宜検討し、回答している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			不定期ではあるが、活動内容などのお知らせは紙面配布にてお伝えしている。また、定期的にSNS(Instagram)を活用し情報発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報事務室内にある鍵付き書庫に保管。また、入社前に社員とは児童の個人情報取り扱いに関する誓約書を取り交わしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童がどのようなツールを利用して気持ちの表出をしているか確認を行いながら、家庭と連携しながら対応を行っている。発語のない児童においては気持ちを代弁したり、職員が選択肢を設けて指差し等で答えやすい状況を提示して児童の気持ちにより近い回答を受けられるように配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルは整備しながら、より実務に即した分かりやすい内容を策定した、フロー図等を作成。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回避難訓練を実施している。次回は2023年の夏休み中に実施。曜日ごとに行い、利用児童が全員体験できるよう計画している。※毎年実施する予定を計画している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会設置し、年間研修予定に組み込み、研修内容を全職員で共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に保護者に説明を行っている。適宜、保護者に伝達して状況説明ができるように職員間は共有している。身体拘束廃止適正化委員会を設置し、年間研修予定に組み込み、研修内容を全職員で共有していく予定。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			指示書が提出されている児童はいないが、食物アレルギーのある児童の保護者には随時確認をしながら、おやつ提供時に配慮を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例があった場合は、日々口頭で確認しながらミーティング内で議題に上げ、所定の用紙に記入し保管することとしている。